

交通史からみた明石の歴史

道は、場所と場所をつなぎ、人と人をつなぎ、過去から未来へ時をつないでいます。物を運び、人を運び、言葉を運んできました。そこには出会いと歴史の舞台があります。人々の一歩ずつが、一つの場面を重ね、今も道筋に生きています。明石は古来より陸上や海上の交通の要として知られてきました。

今年度は、これまでの明石の道に焦点をあて、交通史の視点から明石の歴史を紐解きます。そこには、きっと明石の未来の姿が見えて来るに違いありません。

回	開催日	テーマ	講師	
1	9月3日	古代山陽道	稲原 昭嘉	明石市文化財担当課長
2	9月24日	海上の道－魚住の泊(※)	山下 俊郎	明石文化財調査団
3	10月8日	西国街道と徳川道	宮本 博	神戸史学会
4	10月22日	太山寺道	荒川 裕紀	明石高専准教授
5	11月12日	フィールドワーク(※) 明石駅周辺を中心に	宮本 博ほか	
6	11月19日	鉄道-山陽本線と山陽電鉄-	矢嶋 巖	神戸学院大学人文学部教授
7	12月3日	国道・県道とバス交通	茶谷 翔	神戸大学人文学研究科研究員
8	12月17日	淡路島からみた「明石海峡」の交通	片山 俊夫	兵庫地理学協会
9	1月21日	シンポジウム 交通史からみた明石の歴史	各講師より	

開催時間 14:00～15:30(受付:13:30～)
受講料 全回通して3,000円
定員 60名(会場受講・先着)
 定員なし(オンライン受講)

場 所 ウィズあかし7階 学習室704
 ※ 9月24日…(会場)江井島中学校コミセン
 ※ 11月12日…明石駅周辺で
 フィールドワークを実施

お申し込みから受講までの流れ

会場で受講する場合

(1)ウイズあかし8階窓口または電話にて申し込み

受付開始 : 8月5日午前9時~

必要事項 : ①住所 ②氏名(ふりがな)
③年齢(年代) ④電話番号

定員 : 60名(先着順)

運営ボランティアをしてくださる方は
このときにスタッフにお伝えください。

(2)ウイズあかし8階窓口で受講料支払い

受講料 : 3000円(現金払い)

オンラインで受講する場合

(1)メールにて申し込み

必要事項 : ①住所 ②氏名(ふりがな)
③年齢(年代)④電話番号
⑤メールアドレス

送り先 : oubo@a-machi.jp

(2)支払い方法についてのメールが届くので
受講料3000円を支払う

(3)受講方法についてのメールが届くので内容を
確認しておく。

(4)講座当日にメールが届くので記載してあるURL
をクリックして受講開始

9月3日(土) 第1回講座 「古代山陽道」 開催

■会場について

9月24日は、メイン会場が江井島中学校コミセンとなります。江井島中学校コミセンでの参加が難しい方のために、704学習室で遠隔受講を実施します。

11月12日は、明石駅周辺を徒歩で回りますが、コースの完歩が難しい方向けに704学習室で遠隔受講を実施します。

■休講等の判断について

講座当日、下記のいずれかに該当する場合は休講になります。**※休講の場合の返金はありません。**

- ▷午前9時時点で明石市か兵庫県南東部に、大雨・洪水・暴風のいずれかの警報が発表されている。
- ▷午前11時以降もJR神戸線の計画運休が決定している。
- ▷新型コロナウイルス拡大により、緊急事態宣言等が兵庫県に発出されている。

■休講かどうか確認する方法

講義が休講になった場合は、ウイズあかしのホームページ(<https://withakashi.jp/>)の“新着情報”に「あかし楽歴史講座開催について」というタイトルで掲載します。

■お問い合わせ

〒673-0886 兵庫県明石市東仲ノ町6-1
アスパア明石北館8階 複合型交流拠点ウイズあかし
「あかし楽歴史講座」係
電話 : 078-918-5603
メール : oubo@a-machi.jp
ホームページ : <https://withakashi.jp/>

※お申し込みはお一人につき1件ずつお申し込みください。

運営ボランティア 同時募集

講座当日の設営・受付補助等です。
**※ボランティア用の受講枠はありません
ので、講座申込時にお伝えください。**